Barrier シリーズサポート
緊急修正プログラム
導入手順書
InfoBarrier4

第1.00 版

2007 年4 月

株式会社FFC

【導入作業を始めるにあたり、必ずご一読ください。】
※ 本手順書は、InfoBarrierV4(L10/L20) の緊急修正プログラム導入手順書となります。
※ 本手順書は、FFCの公開サイトより緊急修正プログラムをダウンロードし、PC内に緊急修正プログラムファイルが存在することを前提としています。
※ 本手順書の対象OSは、Windows 2000 Professional/XP Professional となります。
※ 公開サイトよりダウンロードした緊急修正プログラムファイルを本手順書に従い導入してください。
※ 本手順書中の画面イメージはWindows XP Professional/InfoBarrier4の画面を使用しています。

1 導入作業

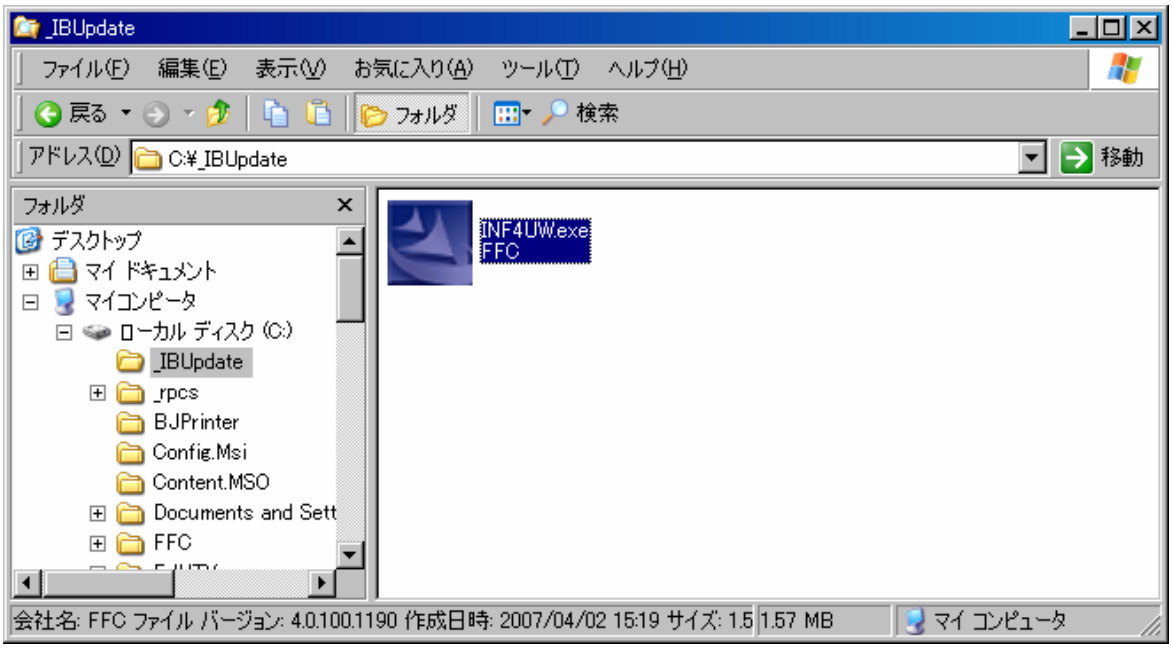
緊急修正プログラムの導入方法として通常インストール、サイレントインストールの2通りの方法があります。
以下に通常インストール、サイレントインストールの2通りの導入手順について記述します。

1．1 通常インストールでの導入手順

※ 管理者権限にてインストールしてください。
※ 管理者権限でのインストールが出来ない場合は別途御相談ください（窓口：barrier-sp@ml.ffc.co.jp）
※ 導入作業後もInfoBarrier4 の導入作業前の設定(ポリシー等)はそのまま引き継がれます。
※ アップデート実施中は、ログオフやシャットダウンを行わないでください。
※ Windows システムの再起動後に緊急修正プログラムが有効になります。

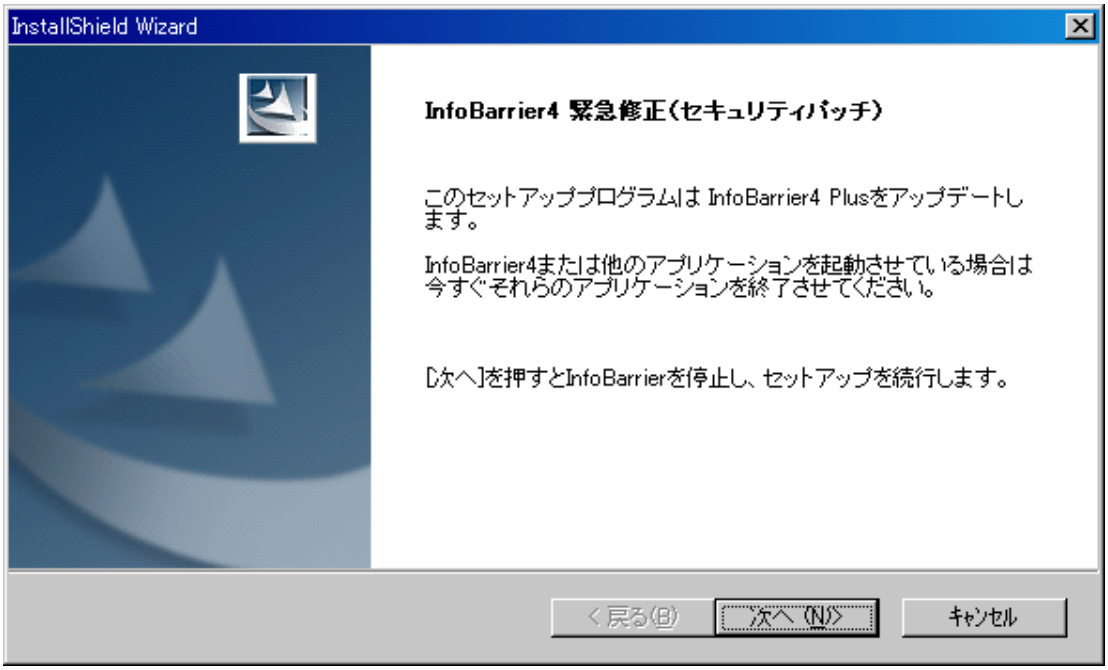
導入作業を開始します。

① 公開サイトよりダウンロードした緊急修正プログラムファイル（INF4UW.exe）を任意のフォルダへ保存します。保存された緊急修正プログラムをダブルクリックして実行します。

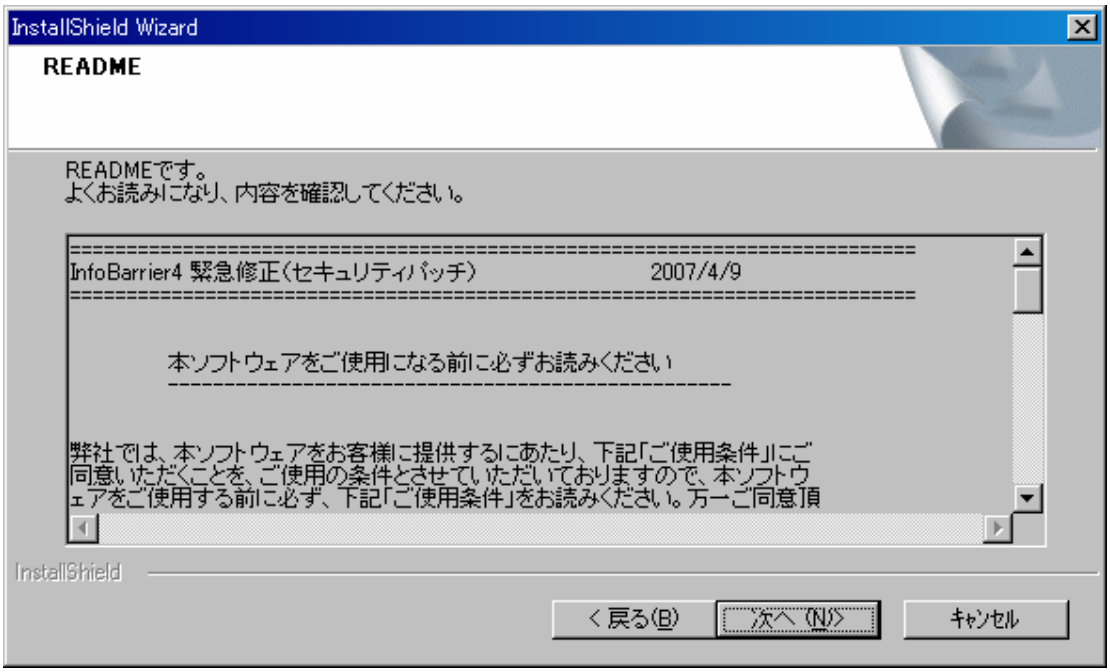


All Rights Reserved, Copyright© FFC LIMITED 2007

② InfoBarrier4のアップデートを開始する画面が表示されるので、“次へ”をクリックします。

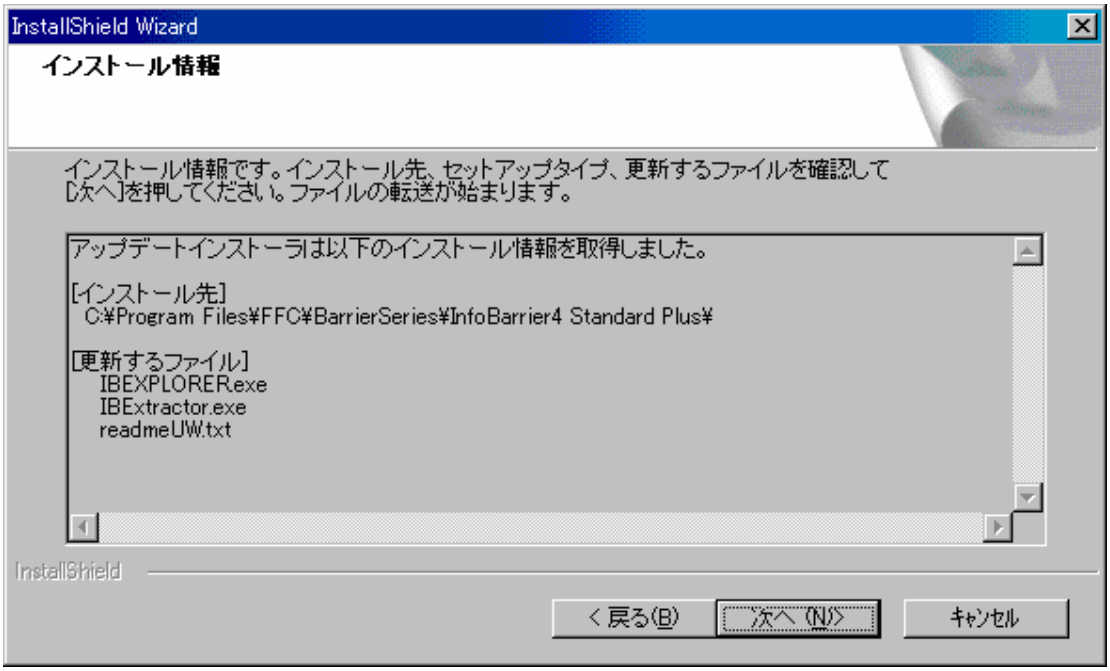


③ アップデートの説明画面が表示されるので、“次へ”をクリックします。

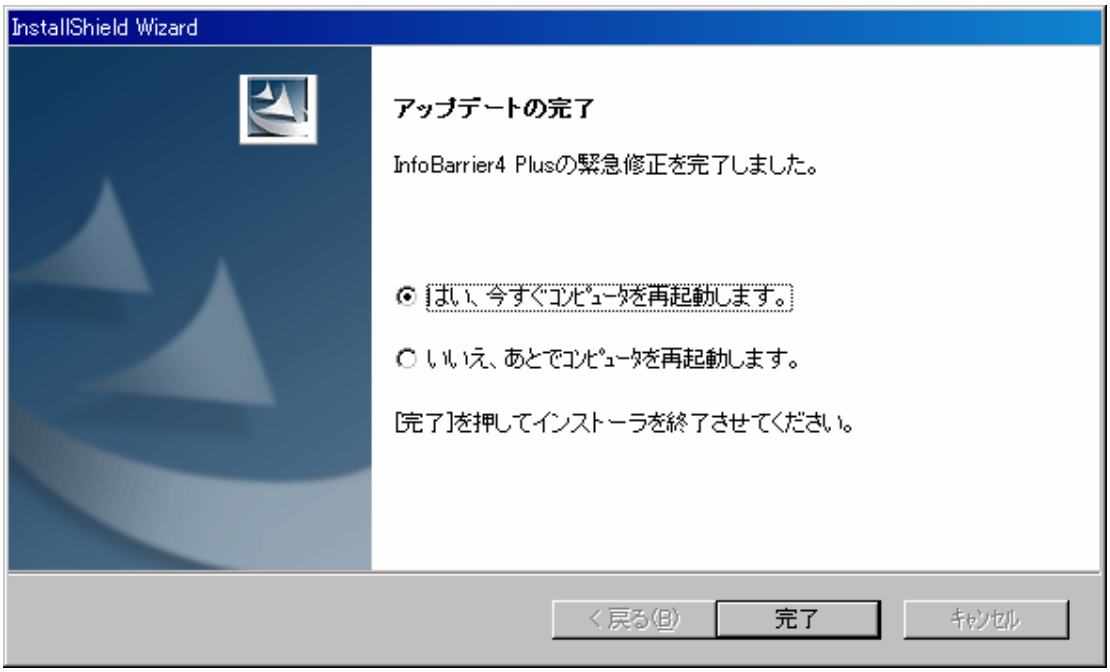


All Rights Reserved, Copyright© FFC LIMITED 2007

④ インストール情報の確認画面が表示されるので、“次へ”をクリックします。



⑤ アップデート処理が十数秒行われ、アップデートの完了画面が表示されます。
“はい、今すぐコンピュータを再起動します。” を選択し、“完了”ボタンをクリックすることにより Windows システムの再起動を行います。



⑥ システム再起動後、一度管理者権限にてログオンしてください。

導入作業は完了です。

All Rights Reserved, Copyright© FFC LIMITED 2007

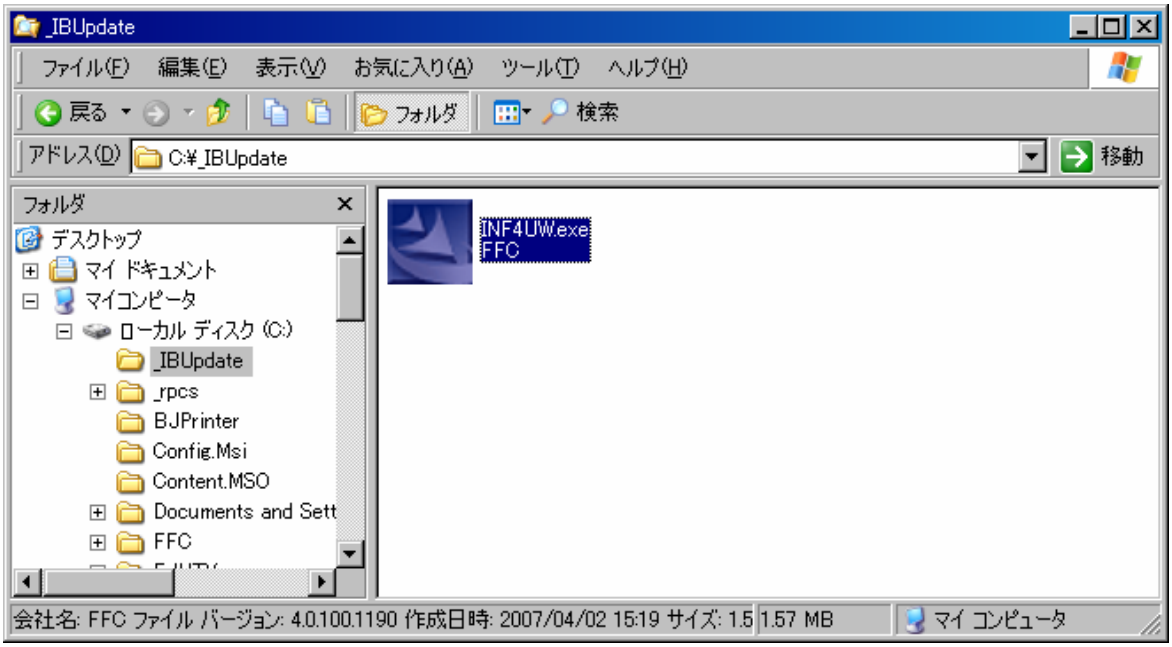
1．2 サイレントインストールでの導入手順

InfoBarrier4 Enterpriseサーバ(MainManager)からサイレントインストール用のバッチファイルと緊急修正プログラムファイルを配信・実行することを前提とします。
（V4L10の場合はサーバから配信・実行はできませんので、別途各端末にファイルをコピーして実行してください）

※　導入作業後もInfoBarrier4　の導入作業前の設定(ポリシー等)はそのまま引き継がれます。
※　アップデート実施中は、ログオフやシャットダウンを行わないでください。
※　Windows　システムの再起動後に緊急修正プログラムが有効になります。

導入作業を開始します。

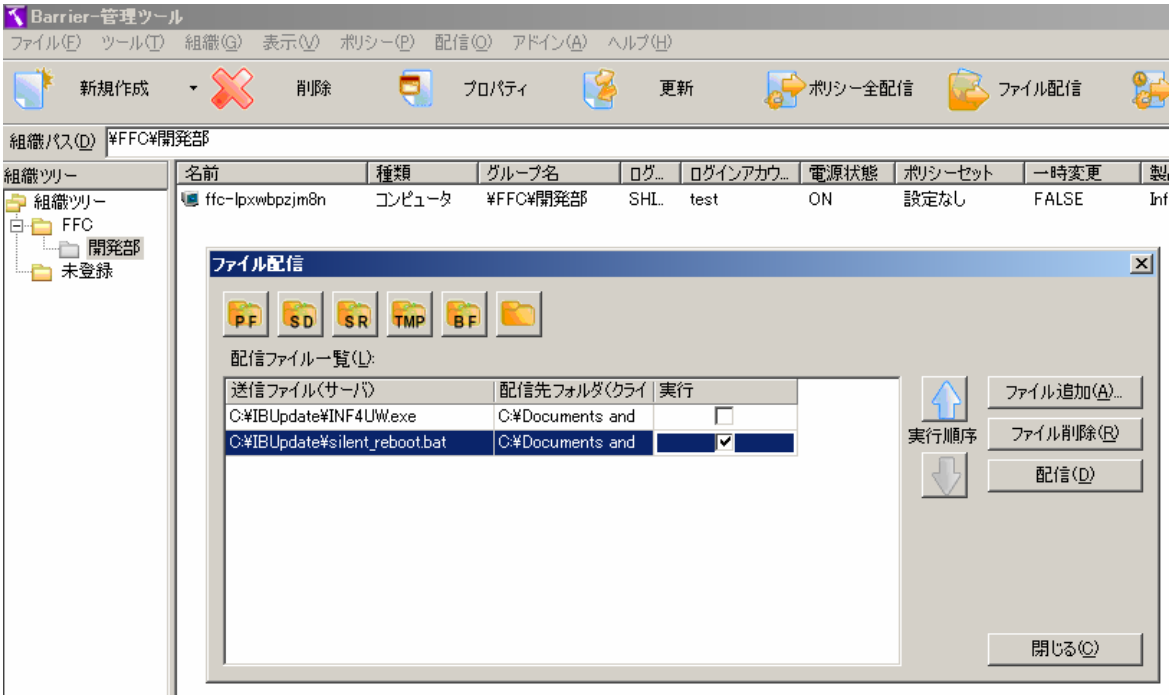
① 公開サイトよりダウンロードした緊急修正プログラムファイル（INF4UW.exe）を
InfoBarrier4 MainManagerサーバの任意の場所へ保存します。



② サイレントインストール用のバッチプログラムを作成します。
バッチプログラムの例は本資料末尾の**【参考資料】**をご参照ください。

All Rights Reserved, Copyright© FFC LIMITED 2007

③ MainManagerの管理ツール画面から、緊急修正プログラムファイル（INF4UW.exe）および
バッチファイルをクライアントへ配信してください。
この際、バッチファイルには“実行”にチェックを付けてください。



④ 配信が完了後、アップデート処理が完了した後にWindows システムが自動的に再起動されます。
（※）バッチにて自動再起動を指定しなかった場合は再起動はされません。
アップデート内容は次回の再起動の後から反映されます。

⑤ システム再起動後、一度管理者権限にてログオンしてください。

導入作業は完了です。

All Rights Reserved, Copyright© FFC LIMITED 2007

2 導入確認作業 （InfoBarrier4のバージョン確認）

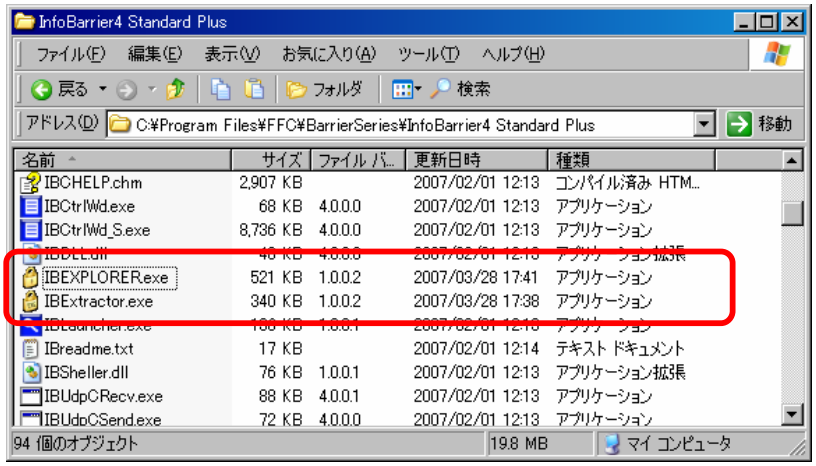
※ 導入確認作業は、緊急修正プログラムの導入後、Windows システムを再起動した後に行ってください。

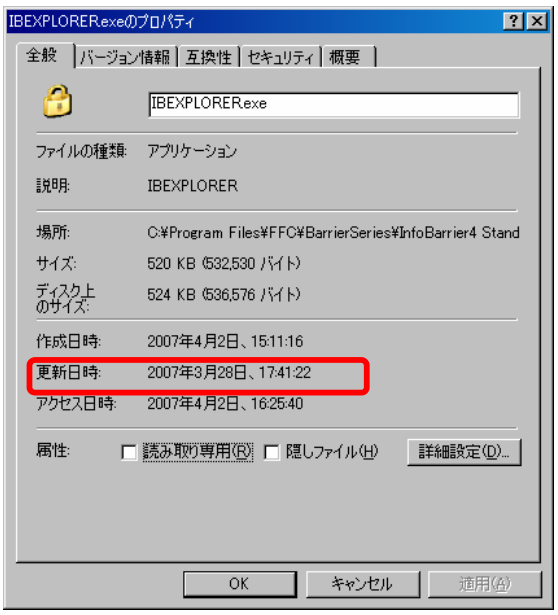
導入確認作業を開始します。

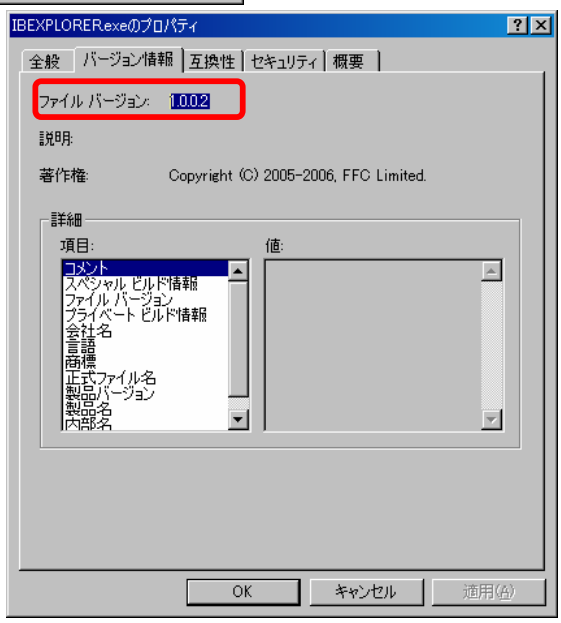
① エクスプローラでInfoBarrier4のインストールフォルダを表示します。
（※）デフォルトのインストールフォルダは、
システムドライブ：¥Program Files¥FFC¥BarrierSeries¥InfoBarrier4 Standard Plus　です。

② 以下のファイルを右クリックしてプロパティ画面を開き、ファイル情報がこのとおりであることを確認してください。

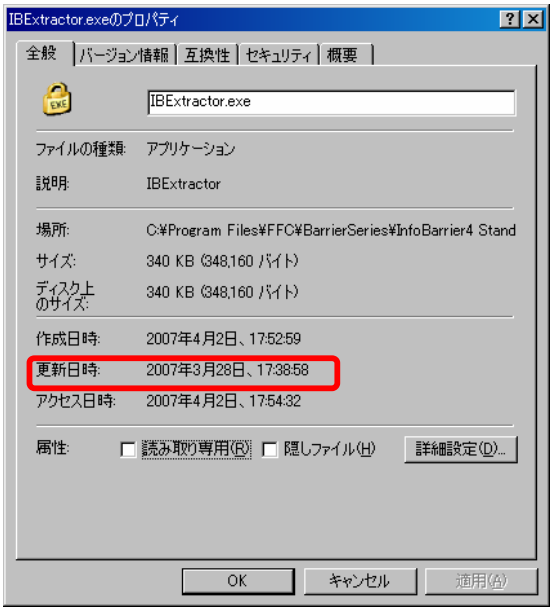
ファイル名	更新日時	バージョン	サイズ
IBEXPLORER.exe	2007/03/28 17:41	1.0.0.2	521KB
IBExtractor.exe	2007/03/28 17:38	1.0.0.2	340KB

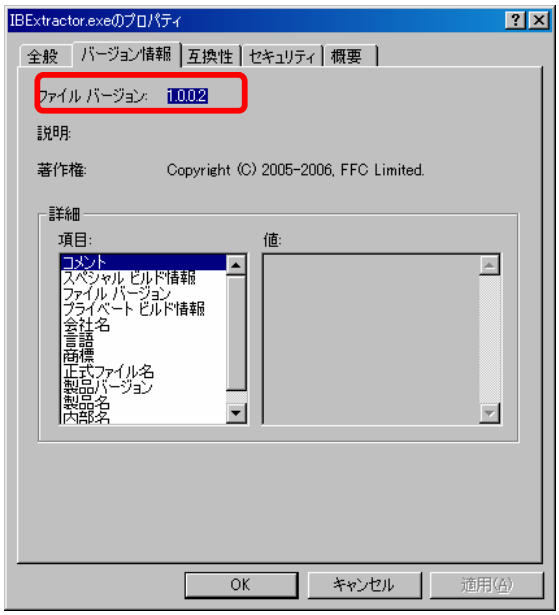






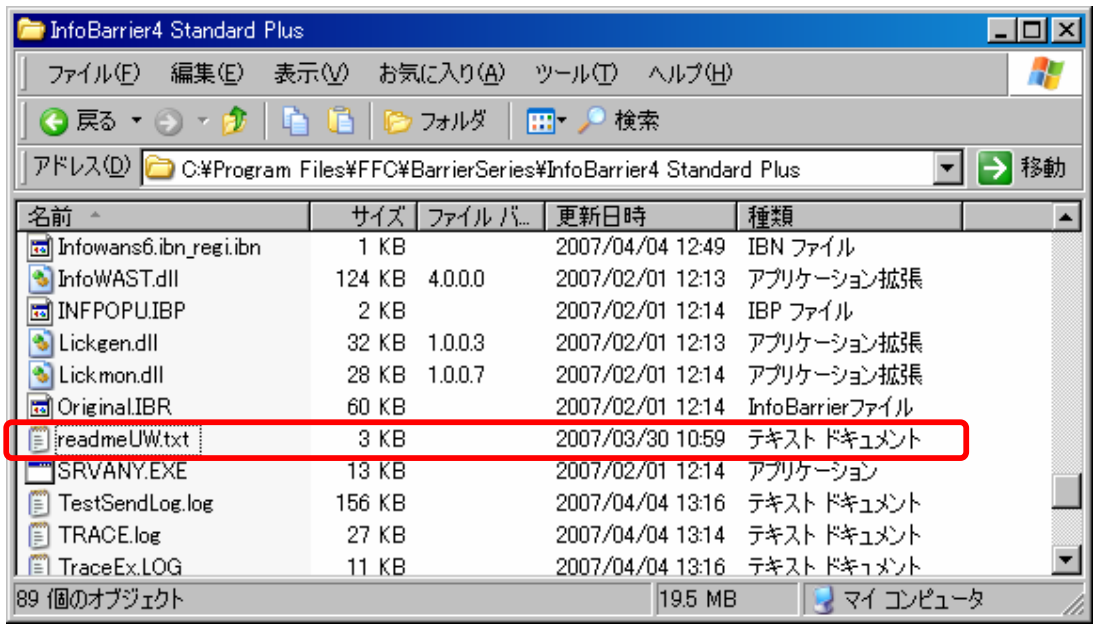
All Rights Reserved, Copyright© FFC LIMITED 2007





③以下のファイルがインストールフォルダに存在することを確認してください。

ファイル名	更新日時	バージョン	サイズ
readmeUW.txt	2007/03/30 10:59	–	3KB



導入確認作業は完了です。

All Rights Reserved, Copyright© FFC LIMITED 2007

【参考資料】

サイレントインストールを行うバッチプログラムの例

“ファイル名を指定して実行”からアップデートを行わず、バッチを配信してアップデートを自動的に実行させる場合のバッチプログラムの例です。

(A)アップデート完了後に自動的に Windows を再起動する場合のバッチプログラム例

ファイル名：silent_reboot.bat

```
@echo off
INF4UW.exe -a -nogui_reboot
exit
```

(※)INF4UW.exe を本バッチとは別の場所に置く場合は、その場所を指定してください。

(B)アップデート完了後に自動的に Windows を再起動しない場合のバッチプログラム例

ファイル名：silent_noreboot.bat

```
@echo off
INF4UW.exe -a -nogui_noreboot
exit
```

(※)INF4UW.exe を本バッチとは別の場所に置く場合は、その場所を指定してください。

All Rights Reserved, Copyright© FFC LIMITED 2007